

5G通信

Vol.55



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

5Gサービス拡充を図る通信企業

世界的に5Gサービス拡充への取り組みが進む中、9月24日に米アップルが新機種「iPhone13」シリーズや「iPad mini」を発売し、5G進展の加速が期待されます。

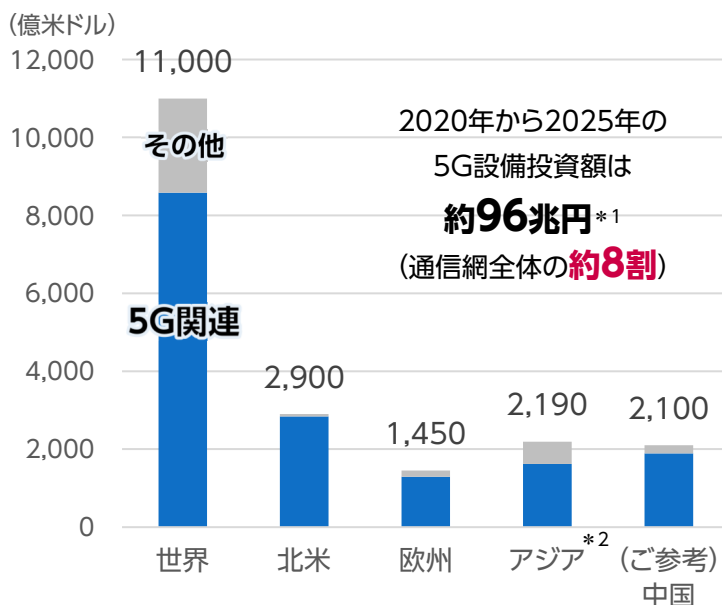
5Gが進展する中、日米の通信事業者はサービス拡充への取り組みを加速

- 5G(第5世代移動通信システム)商用化がスタートし顧客獲得競争が激化する米国では、通信大手AT&TやTモバイルUS、ベライゾンが5G対応端末を無料で配布(一部上限金額を設定)する等のサービスを開始しました。
- 一方日本では、ソフトバンクが2021年9月時点の5Gの人口カバー率59%を10月末までに80%に、さらに2022年春には基地局を5万局に増設し90%に引き上げる計画を発表しました。加えて、電波の境目で通信が途切れないネットワークの構築を行うなど品質向上に向けた取り組みを掲げています。
- NTTドコモやKDDIは、2021年8月から設置工事を必要としない5G対応のホームルーターサービスを開始しました。割安な5Gサービス提供プランも打ち出しており、新規顧客の獲得を図っています。
- 世界の5Gの人口カバー率は、2019年の5%から2020年には17%に増加したもののまだ低位にすぎません。世界の通信事業者は、コロナ禍で需要が高まった5Gのインフラ敷設を喫緊の課題として今後も5Gへの積極的な設備投資を行う見込みです。

米アップルの新機種発売が、5G進展を後押しする可能性

- 2021年9月、米アップルは新機種「iPhone13」シリーズおよび「iPad」シリーズを発売しました。「iPhone13」シリーズは、昨年発売された「iPhone12」シリーズに続き5Gに対応し、電池の容量が増えた他、処理速度やカメラ機能が大幅に向上しました。
- iPadも前モデルから性能・機能が進化し、リモートワークや教育、医療等の幅広い分野での活用を想定したものとなりました。
- 2021年のiPhone全体の販売台数は、約2.4億台と過去最多になる見通しです。5G対応iPhoneの普及拡大によって、今後5Gインフラやサービスの進展が加速することが期待されます。

世界の通信事業者の設備投資額予測

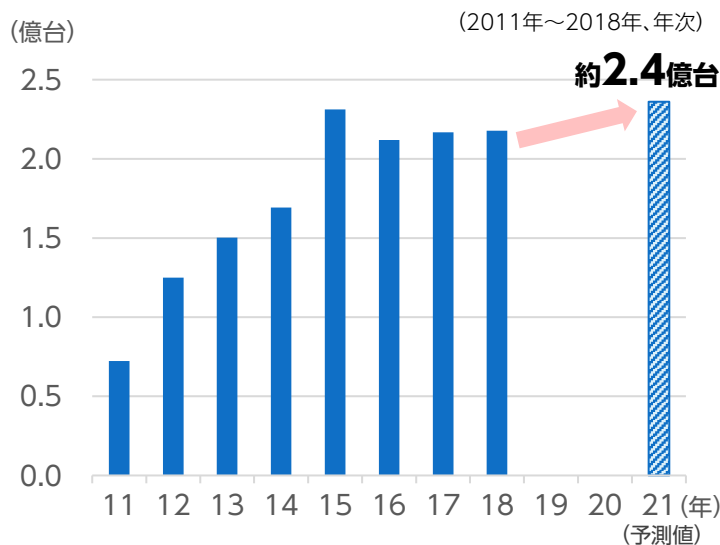


*1: 2021年9月末現在の為替レートを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算

*2: オセアニア地域を含む

※2020年から2025年の通信網設備投資額におけるGSMA予測値
(出所) GSMA Intelligence (携帯通信事業者の業界団体の調査・コンサルティング部門)「The Mobile Economy」のデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

アップル「iPhone」販売台数の推移



※販売台数は2019年以降非公開、2021年はBloomberg予測値

※各年の販売台数は、前年10月から各年9月のデータ

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。